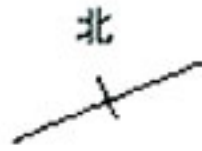


# 2009年度 名古屋大学 前期 地学

## 問題Ⅰ

問 1



問 2

上位方向：北北西側

理 由：中央部の砂層に級化成層が見られるので、北北西側が上位と判断できる。

問 3

有孔虫と放散虫

問 4

海岸段丘（海食台）

問 5

木片はB層の堆積以前のものがB層中に含まれた可能性があるので、フジツボの方がよい。

問 6

0.86mm/年

## 問題Ⅱ

問 1

(ア)：プレートテクトニクス (イ)：地磁気（異常） (ウ)：GPS

問 2

ホットスポットで形成された火山島はプレートの動きの向きに1列に並ぶ。ホットスポットの位置は不動なので、ホットスポットと離れた火山島までの距離と火山島の形成年代とから、プレートの移動速度がわかる。(97字)

問 3

設問 1 (A) ユーラシア (B) 太平洋 (C) フィリピン海

設問 2 地表とプレートの動きは同じではない。プレートは理想的な硬い板ではないので変形する可能性がある。また、理想的な板であってもどこかを極とする回転運動をすると極からの距離の大小で速度が異なる。(93字)

問 4

過去200万年ほどではプレートを移動させる原動力は安定であることを示している。(39字)

## 問題Ⅲ

問 1

(ア)：微惑星 (イ)：温室効果 (ウ)：マグマオーシャン (エ)：核 (オ)：原始海洋

問 2

隕石：A

理由：始原的な隕石はガス成分を多く含んでいるから。

問 3

設問(1)：原始海洋へ溶け込み、石灰岩として堆積した。

設問(2)：光合成生物が出現したために酸素の量が増加した。その酸素は、海水中の鉄と化合して酸化鉄となり、沈積した。

地 層；縞状鉄鉱層

#### 問題Ⅳ

問 1 (ア)：赤道低圧帯 (イ)：亜熱帯ジェット気流 (ウ)：亜熱帯高圧帯

(エ)：貿易風 (オ)：ハドレー

問 2 ①：高緯度向きに気圧傾度力が働き、低緯度向きに転向力が働く。(28字)

②：低緯度向きに気圧傾度力が働き、転向力と摩擦力の合力が気圧傾度力を打ち消す向きに働く。  
(42字)

問 3 (c)

問 4 海氷の形成などで塩分濃度が高くなり、これが海水の密度を高くする要因である。(37字)